



奄美伍郷商店

設立 資本金 従業員数 代表者 業種	H30年4月 — 1人 長瀬 悠 奄美特産品販売	住所 TEL FAX H P	〒894-0026 奄美市名瀬港町3-10 小原ビル1F 090-5301-5901 — amami-gogoh.com
--------------------------------	--------------------------------------	-------------------------	---

採択テーマ

島の誇りに基づいた未来につながる地域づくりの創造

事業内容（取扱商品・サービス）

奄美伍郷商店というブランドを軸に、奄美群島の特産品を、店舗・ECを活用し島外・海外に提供する。店舗では奄美群島の特産品のお土産販売とフルーツやハーブティ等のジュースバー・黒糖焼酎バーを行っている。

- ・特産品・・・お菓子、海鮮加工商品（たこ焼き含む）、紅茶、和紙、木工クラフトなど
- ・ドリンク・・・フルーツティー、ジュース、黒糖焼酎など

補助内容

- ・内外装改修（トイレ改修、照明設置工事）
- ・設備購入（業務用冷凍ストッカー、作業台、テーブル、暖簾等）
- ・販路開拓旅費 3回
- ・パンフレット制作、WEBサイト制作

成果

- ・トイレ改修により、お客がストレスなくトイレを利用できるようになり、外部照明設置により夜間の来客が増加した。
- ・県外営業により店の知名度が上がり、取引検討事業者が増えた。またチラシ制作やWEBサイト制作により島外における認知度が上がった。



起業のきっかけ

地域おこし協力隊として、地域の方々と今後の島の在り方、事業の課題等を語り合う中で、それを解決できるものは何か考えた。

奄美伍郷商店は、群島5島、本島5市町村、店舗前の5差路から、力を合わせる意味の“伍”という漢字を店名に使用し“郷”を盛り上げていきたい。

苦労したこと、工夫したこと

- ・島の第一次産業と連携し、地域商社として島民の利益も考えながら特産品販売事業を立ち上げた。
- ・加工品の販売は、島の原材料50%以上にこだわったが、商品化が難しく規模縮小せざるを得なかった。

現在の状況・課題

- ・ホットドッグ、エビサンド、ジュース類の定番メニューに加え、島だこを原料としたたこ焼きを半年前にメニューに追加したが、島では珍しいメニューで好調に売れている。
- ・お客は地元客が7割で観光客の来店は少なめであり、もっと観光客をターゲットとした事業展開の必要性を感じている。

今後の事業展開

- ・特産果実のドライフルーツ製造や魚介の粉末製造を試作検討している。島の一次生産者が将来にわたり安定して生産でき、次の世代へつなげるサイクルを創りあげたい。
- ・奄美大島は個人観光客が増加しているので、個人のグループ化によるシェアリングアクティビティの商品化（個人を束ねたツアーメニュー）を実現し、個々人の島での出会いを支援したい。また、雨天時は自然観光が沈みがちなので、食事・おみやげ・体験を1カ所で楽しめる複合観光施設の構想を練るなど、移住者の視点から地域の活性化に貢献できることを仲間と模索している。